

2015年7月～8月のJ-stage アクセスランキング

(対象論文：44巻1号～50巻3号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料の計216編)

上位20位の論文情報

順位	DL	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	46	原著	関東地方におけるNOxおよびVOC排出削減のオゾン濃度に与える影響	桐山悠祐	50	8
2	24	原著	2011年11月に関東で観測されたPM2.5高濃度の解析	長谷川就一	49	242
2	24	原著	首都圏における夏季高濃度オゾン出現に関わる前駆物質(NMHCとNOx)の挙	吉門洋	50	44
4	23	総説	PM2.5の実態解明に向けて-最近の研究と今後の課題-	伏見暁洋	46	84
5	22	原著	ハイブリッド遺伝的アルゴリズムによるPM2.5モニタリングネットワークの最適化	荒木真	50	35
6	21	原著	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保直樹	45	227
7	20	原著	日本における自動車由来大気汚染物質排出の30年史	神成陽容	48	20
8	19	速報	2013年1月に中国北京市で採取した高濃度PM2.5,PM1の特徴	米持真一	48	140
9	18	技術調査報告	2011年度の連続測定結果に基づく全国的なPM2.5汚染の状況解析	板野泰之	48	154
9	18	総説	微小粒子状物質(PM2.5)の測定	坂本和彦	46	61
9	18	総説	東アジアにおけるエアロゾルのフィールド観測および分析法の開発	奥田知明	50	1
12	17	原著	北関東における微小粒子状物質のレセプターモデルと放射性炭素同位体比を	高橋克行	46	156
12	17	原著	九州北部の離島および大都市部におけるPM2.5濃度の通年での挙動	兼保直樹	46	111
14	16	総説	PM2.5の疫学と健康影響:日本人のリスク評価の視点から	武林亨	46	70
14	16	総説	アジアにおける排出インベントリに関する研究	黒川純一	49	167
14	16	原著	松山、大阪、つくばで観測した浮遊粉じん中金属元素濃度比による長距離輸	日置正	44	91
17	15	原著	誘導体化-加熱脱着GC/MS法によるPM2.5中の極性及び非極性有機成分の	上野広行	47	241
17	15	ノート	沖縄辺戸岬での長期連続観測による越境大気汚染物質の経年変動	重富陽介	47	45
17	15	技術調査報告	2011年2月上旬に観測された広域的なPM2.5高濃度エピソードの要因推定	山神真紀子	48	196
17	15	原著	長崎県福江島・福岡県福岡市におけるエアロゾル金属成分の特徴と発生源推	鈴木亮太	49	15

同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。